２０２４年度

入　学　試　験　要　項

外国人留学生選抜

商　　学　　部
人　　文　　学　　部
法　　学　　部
経　済　科　学　部
人　間　環　境　学　部
健　康　科　学　部
国際コミュニティ学部

広島修道大学

目　　次

広島修道大学のアドミッション・ポリシー…… 1
１．募集人員及び入試日程……29
２．出願資格……29
３．試験科目・試験時間・配点……31
４．選抜方法……31
５．出願書類……32
　入学志願票記入例……33
６．入学検定料……34
７．出願方法……34
８．障がいなどのある志願者の配慮について……34
９．感染症（インフルエンザなど）について……34
10．受験票の交付について……34
11．試験場……34
12．受験上の注意……34
13．合格発表……35
14．入学手続……36
15．諸納付金（2024年度予定）……36
16．外国人留学生諸納付金減免制度について……37
試験場案内……39
出願書類（本学所定用紙）……40
入学志願票……49

個人情報の取り扱いについて

出願にあたって、書類等でお知らせいただく情報につきましては、以下の目的のために利用します。

１．入学試験実施・運営
２．受験票の送付
３．合格通知書及び本人の「合否結果」、入学手続要項の送付
４．入学準備学習の資料送付
５．インターネット入学手続及び入学後の学籍登録
６．「生協関連カタログ（ただし、大学との協議を経たもの）」の発送

合格者の入学後は、教育・調査・研究（入試の改善や志願者動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

なお、個人情報については、適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者に委託することがあります。

大学からのお知らせ等がある場合は、入試情報サイトに掲載しますので確認してください。

広島修道大学のアドミッション・ポリシー

学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

広島修道大学は、学生一人ひとりが「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることを教育目標としています。この目標のもと、次のような人を広く受け入れます。

1．大学での学びに必要な基礎学力を有する人
2．地域・国際社会における課題を自ら発見し解決していく意欲がある人
3．主体性を持って多様な人々と協力し価値を創造する意欲がある人
4．持続可能な社会の創出に積極的に貢献する意欲がある人

各学部・学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度と関連付けて明示し、合否判定にあたっては多面的・総合的に資質や意欲を評価・判定します。

■商学部

1．求める学生像

商学部では、世界、日本及び地域社会に関心を持つ人、商学、経営学に関心を持つ人、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組む人、多様な人々と協働して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。基本的学力として、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度という学力の３要素を求めます。

2．入学試験制度と評価

商学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション・ポリシーで明示します。

3．商学部の教育を通じて養う能力

商学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力③協創力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

■商学部　商学科

1．求める学生像

商学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、商学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようとすることを重視します。商学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能
高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。商学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

⑵　思考力・判断力・表現力
商学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

⑶　主体性等
多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2．入学試験制度と評価

商学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜
入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程で

は、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

商学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、商学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文（資料小論文）、面接、出願書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の３要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文（資料小論文）を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の３要素全てを評価します。出願書類では、学力の３要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜［活動実績重視方式］では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜［小論文重視方式］では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

学校長から推薦され、商学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の３要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の３要素を全て評価します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

商学科への進学実績をともなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し商学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて学力の３要素を多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

総合型選抜［活動実績重視方式］と同じ方式で評価します。

帰国生選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験（日本語・総合科目）の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に３年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

３．商学科の教育を通じて養う能力

商学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協創力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

（別表）商学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 〔活動実績重視方式〕	○	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
	総合型選抜 〔小論文重視方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・個別学力検査（英語） ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・個別学力検査（英語） ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等の証明書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■商学部　経営学科

１．求める学生像

経営学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、経営学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようとすることを重視します。経営学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能
高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。経営学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

⑵　思考力・判断力・表現力
経営学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

⑶　主体性等
多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授

業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2．入学試験制度と評価

経営学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

経営学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、経営学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味･関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文（資料小論文）、面接、出願書類によって、能力･意欲･適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の３要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文（資料小論文）を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の３要素全てを評価します。出願書類では、学力の３要素を、調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜［活動実績重視方式］では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜［小論文重視方式］では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

学校長から推薦され、経営学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、調査書、志望理由書では、学力の３要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、調査書、個別面接によって学力の３要素を全て評価します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

経営学科への進学実績をともなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し経営学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面接・出願書類・推薦書・調査書等に基づいて学力の３要素を多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

総合型選抜［活動実績重視方式］と同じ方式で評価します。

帰国生選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験（日本語・総合科目）の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に３年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

3．経営学科の教育を通じて養う能力

経営学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協創力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

（別表）経営学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 〔活動実績重視方式〕	○	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
	総合型選抜 〔小論文重視方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・個別学力検査（英語） ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・個別学力検査（英語） ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等の証明書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■人文学部　社会学科

１．求める学生像

社会学科は、高等学校卒業程度の学力、すなわち入学後に学士課程教育を受けるに必要な学力を有し、次のような人を広く国内外から受け入れます。具体的には、⑴社会における諸現象・諸問題に関心があり、自ら調査し、考え、他者とコミュニケーションすることによって学ぼうとする人、⑵豊かな人間性を培うために、広い視野を有し、多角的な社会学的視点から実社会を理解しようと努める人、⑶社会学の視角・方法・理論を修得しようと努める人、⑷将来に関して目標を持ち、自己の人生を切り開く能力を身につけようとする人です。

社会学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における英語・国語・社会科・数学などの教科に関する知識・技能を習得している人。社会の構造、社会に生きる人々の意識や価値観を理解し、社会におけるさまざまな現象や問題・課題について理解・分析し、自身の考えを表現し、他者と議論する際に基礎となる能力を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

自ら社会的な課題や問題を発見し、その解決に取り組み、成果を社会において表現するのに必要な社会学的思考力・判断力・表現力を修得することに意欲がある人。

⑶　主体性等

激しく変化していく現代社会のなかで多様な価値観を持つ他者に対して理解しようとする態度を備え、主体性を持って多様な人々と学びあい、相互理解をはかっていこうとする意欲がある人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、英語と国語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力

の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2．入学試験制度と評価

社会学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、主として個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して選抜します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

社会学科での学修に意欲を持つ者で、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として個別学力検査と面接に基づいて、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して学生を選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として面接に基づいて、志望理由書、調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して、学生を選抜します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　社会人選抜

社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、調査書の内容、社会人としての活動・経験などを加味して選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

⑻　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑼　外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

⑽　編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3．社会学科の教育を通じて養う能力

社会学科の教育を通じて養う能力は、以下のような能力です。

⑴　社会学の知識に基づく視角・方法・理論の成り立ちと現代的展開を自ら学び考えることによって、実社会における現象や問題・課題について、社会学的に理解・分析し、自身の考えを表現できる能力。
⑵　修得した社会学的知識に基づく視角・方法・理論を持って、自ら社会的な課題を発見し、社会問題の解決に取り組み、その成果を社会的に表現するために必要な社会学的思考力・判断力・コミュニケーション能力。
⑶　激しく変動していく現代社会において、自ら身につけた社会学的知識を多様な科学や学問に照らしつつ、主体性を持って多様な人々と学びあう能力。
⑷　国際化を進める社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマに関して主体性を持って学問的に追求する能力。

（別表）社会学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程、後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・課題小論文 ・調査書	◎	・課題小論文 ・面接 ・志望理由書	◎	・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募）	◎	・小論文 ・推薦書 ・調査書	○	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■人文学部　教育学科

１．求める学生像

教育学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。教育学とは、ある社会・文化における人間の生成・発達と学習の過程に意図的に働きかける教育という営みを対象とする学問です。そのため、教育学を学ぶ学生には、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する力を身につけることが必要です。

教育学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能
教育学の専門分野を学ぶために必要な高等学校までの基礎的・基本的な知識・技能を習得し、観察・実験をし、その結果をもとにレポートを作成したり、文章や資料を読んだうえで、知識や経験に照らして自分の考えをまとめたりするなど、それぞれの教科の知識・技能を活用できる力を身につけている人。

⑵　思考力・判断力・表現力
教育学的な視点で自ら問題を発見し、課題解決のため教科等を横断した探究活動ができる力を身につけている人。
情報を多面的・多角的に精査し構造化することを通して、自分の考えを形成し、様々な方法で表現できる力を身につけている人。

⑶　主体性等
学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる態度が身についている人。
多様性を尊重する態度や互いの良さを生かして協働する力が身についている人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、国語については、高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向

上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

また、自ら問題を発見し、様々な情報を活用しながら、問題を解決し、それを発信できる言語能力を高めてきてください。

2．入学試験制度と評価

教育学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、筆記試験に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。また、集団討論に基づいて思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、　言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　外国人留学生選抜

日本留学試験の成績に基づいて日本語運用能力を評価します。そのうえで、面接に基づいて知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価します。

外国人留学生選抜では、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

⑻　社会人選抜

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の学力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

社会人選抜では、資料小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査と小論文に基づいて、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

編入学試験・学士入学試験では、個別学力検査と小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3．教育学科の教育を通じて養う能力

教育学の学修方法は、「教える－学ぶ」に関連する理論と実践について、言語、身体、感覚の全てを視野に含みつつ、考察を行うことを基盤としています。その学修方法を通して、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する能力を身につけます。

（別表）教育学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜 （前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜 （後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程、後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・調査書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・面接 ・志望理由書	○	・集団討論 ・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募）	◎	・小論文 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■人文学部　英語英文学科

1．求める学生像

英語英文学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、言語や文化、とりわけ英語や英語圏の文化に強い関心と探究心があり、英語習得に必要不可欠な努力を惜しまず、英語で他者と積極的に交流し、多様な価値観を持つ他者とともに問題の解決に当たる協働性を備えていることを重視します。英語英文学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における英語・国語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、英語圏の文学や英語学・応用言語学の文献読解、さらにこれを踏まえた論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎となる英語の音声・語彙・文法の知識及び「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

言語や文化に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

⑶　主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

英語学習に関しては、英文法を一通り学習すること、正しい発音で大きな声で音読すること、英検等各種検定試験に積極的に挑戦する

ことです。これらのことは「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」等の育成に役立ちます。

2．入学試験制度と評価

英語英文学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、英語力試験に基づいて基礎となる英語能力を評価します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、資料小論文試験に基づいて基礎となる英語能力及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接に基づいて、主体性と、口頭による思考力・判断力・表現力を評価します。また、出願書類に基づき、取得した英語資格も加味します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的･総合的に評価･判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査によって、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3．英語英文学科の教育を通じて養う能力

言語としての英語、及び英語圏の文化の諸相に関する知識と、国際化を進める社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマを学問的に追求し、主体性を持って協創する能力を身につけます。

（別表）英語英文学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程、後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	◎	・英語力試験 ・面接 ・調査書 ・活動報告書	◎	・英語力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募）	◎	・小論文 ・英語資格・検定 ・推薦書 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■法学部

１．求める学生像

法学部法律学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎的な学力を備えている人を様々な入学制度により選抜し、受け入れます。求める学生像は、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人で、法と国家・社会の関わりに関心を持ち、社会に生じる問題について多様な価値観を尊重しつつ合理的な解決に向けて意欲的に学習し行動しようとする人です。

⑴　知識・技能

まず、国語の基礎学力を有する学生を求めます。法律学科で法解釈の素養を身につけるためには、正確に文章を読み解き、論理的に考えることがとりわけ重要です。次に、理数系科目の基礎学力を有する学生を求めます。法学に必要な論理的思考力は数学などの理数系科目の学習によって培われると考えられています。また、グローバル化した社会の中で法的素養を身につけるには、諸外国の法制度にも関心を持たなければなりません。そのため、高等学校における英語の教科に関する知識・技能を有する学生を求めます。さらに、今日の法制度を学ぶにあたって、歴史的な経緯を理解することも重要であるため、日本史・世界史の知識を有することも必要です。

⑵　思考力・判断力・表現力

公正な社会の実現に努める意欲を持っており、様々な社会の諸現象や諸問題に強い関心があり、自ら調査し、事態の背景や推移を正確に理解し、問題解決に必要な情報を収集･蓄積することのできる学生、先入観や偏見にとらわれず、多様な考え方や価値観を学習･理解するとともに、多数の解決法を比較・選択したうえで、自分の意見を決定することのできる学生、文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現することのできる学生を求めます。

⑶　主体性等

法律専門家・公務員・企業人など、将来の進路について明確な目標を持つよう模索し、主体的に学ぶことのできる学生、多様な立場や価値観を尊重し、他者の意見や価値観の相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有する学生を求めます。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

法律の学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって法学部法律学科への入学を希望する学生は、高等学校における科目の教科書レベルの知識を幅広くしっかりと習得していることが大切です。特に国語や数学、英語、歴史などの科目をしっかり学んでください。また、新聞や様々な本を読むことにより、社会科学に関する幅広い知識を習得できるため、新聞や様々な本を読むことを強くおすすめします。

２．入学試験制度と評価

法学部法律学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識･技能」、「思考力･判断力･表現力」、「主体性等」を多面的･総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」に重点を置き、特定の課題に関するゼミナール（ゼミナール方式の場合）・社会問題についての小論文（スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合）、面接（スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合）、活動報告書（スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合）、出身学校調査書（一定の学習成績の状況を満たす必要があります）、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置き、英語試験（英語方式）・資料小論文試験（小論文方式）、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（一定の学習成績の状況を満たす必要があります）、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で、社会問題についての小論文及び社会問題に関する３分間説明、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（一定の学習成績の状況を満たす必要があります）、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜（附属校）では、学力の３要素全てを同等の比重で、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書（一定の学習成績の状況を満たす必要があります）、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜（ゼミナール方式）と同じ方式で実施します。

⑻　外国人留学生選抜

主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、資料小論文試験、日本留学試験のスコア、面接、出願書類等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

第３学年次に編入するために必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、英語試験・資料小論文試験、面接、成績証明書、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

３．法律学科の教育を通じて養う能力

法律学科の教育目標を実現するために必要な法的知識と技能を修得し、法的課題の発見及び解決に取り組み、その成果を表現するために必要な法的思考力・判断力・表現力等の能力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を養います。

（別表）法学部　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 〔ゼミナール方式〕	○	・ゼミナール ・調査書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・調査書 ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨
	総合型選抜 〔スポーツ実績方式〕 〔芸術・文化実績方式〕	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・調査書	◎	・社会問題についての小論文 ・面接 ・活動報告書 ・志望理由書	◎	・社会問題についての小論文 ・面接 ・活動報告書 ・調査書 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔小論文方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■経済科学部

１．求める学生像

経済科学部では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、次の基礎能力を有する人を求めます。物事を論理的に考察できる人、物事を科学的に考察できる人、学修に真摯かつ熱心に取り組むことのできる人、明朗快活にコミュニケーションをとることができる人。

２．入学試験制度と評価

経済科学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的･総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション･ポリシーで明示します。

３．経済科学部の教育を通じて養う能力

経済科学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会・情報社会に求められる高度な知識と技術を有する人材」として養成します。

■経済科学部　現代経済学科

１．求める学生像

現代経済学科は、学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を、様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。現代経済学科が求める学生像は、経済社会・経済問題・経済現象等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、現代経済学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

経済問題や経済現象に対し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

⑶　主体性等

経済問題や経済現象に常に関心を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文科系・理科系を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、現代経済学科の大半の講義は修得できます。

２．入学試験制度と評価

現代経済学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

講義理解力試験で現代経済学を学ぶ際に必要な「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接・出願書類に基づいて、現代経済学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。

英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、面接・出願書類で主体性等を評価し、調査書も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・出願書類で知識・技能、主体性等を評価し、調査書で思考力・判断力・表現力を確認して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

修学実績をともなう高校等を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

3．現代経済学科の教育を通じて養う能力

現代経済学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力･判断力･表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会を体系的に把握かつ科学的に分析する能力を有する人材」として養成します。

（別表）現代経済学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・講義理解力試験 ・調査書	◎	・講義理解力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔小論文方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■経済科学部　経済情報学科

1．求める学生像

経済情報学科は、学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を、様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。経済情報学科が求める学生像は、情報社会・情報科学・システム科学等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、経済情報学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

情報科学やシステム科学の学修に際し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

⑶　主体性等

情報科学やシステム科学に常に関心を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文科系・理科系を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、経済情報学科の大半の講義は修得できます。

2．入学試験制度と評価

経済情報学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

講義理解力試験で経済情報学を学ぶ際に必要な「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接・出願書類に基づいて、経済情報学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、面接・出願書類で主体性等を評価し、調査書も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・出願書類で知識・技能、主体性等を評価し、調査書で思考力・判断力・表現力を確認して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

修学実績をともなう高校等を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第３学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

3．経済情報学科の教育を通じて養う能力

経済情報学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「経済社会の発展に貢献しうる情報処理能力及び論理的思考力を有する人材」として養成します。

（別表）経済情報学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・講義理解力試験 ・調査書	◎	・講義理解力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔小論文方式〕	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式〕	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■人間環境学部　人間環境学科

１．求める学生像

人間環境学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎学力を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、環境問題に広く関心を持ち、その解決に向けて主体的に学習・行動し、持続可能な社会の構築に資する意欲を持つ人材を広く国内外から受け入れます。人間環境学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

・高等学校で学習する教科についての基礎的な知識を身につけている人

・高等学校等で学習する環境問題についての基礎的な知識を身につけている人

・基礎的な知識を伝達するために、外国語を含む基本的な言語運用能力を身につけている人

⑵　思考力・判断力・表現力

・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、理論的・体系的に考えることができる人

・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、問題解決に必要な情報を選択し、解決の方向性について自分の考えを持つことができる人

・外国語を含む基本的な言語運用能力を用いて、自分の考えを論理的にわかりやすく表現することができる人

⑶　主体性等

・地域社会から地球全体に至る様々な環境問題を自分自身の問題としてとらえ、問題解決のために学ぶ意欲・関心・態度を持つ人

・持続可能な社会を構築するために、様々な活動に積極的に参加する意欲を持つ人

・持続可能な社会を構築するために、多様な人々と対話し協働して活動することができる人

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

・環境問題に関連する文系・理系の枠組みを超えた専門分野を学ぶために、高等学校で学習する幅広い教科の教科書レベルの知識を身につけておくこと

・書籍や新聞等を読んで、環境問題をはじめとする国内外の問題について幅広い知識を身につける努力をしておくこと

・国内外の環境問題について普段から関心を持ち、自分の考えを表現できるようになっておくこと

2．入学試験制度と評価

人間環境学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を得点化して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかり理解している人を選抜します。選抜の方式には、総合型選抜〔レポート方式〕、総合型選抜〔プレゼンテーション方式〕、総合型選抜〔活動実績方式〕があります。

総合型選抜〔レポート方式〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、テーマに関するレポート、レポートに関する質疑応答審査、テーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜〔レポート方式〕では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜〔プレゼンテーション方式〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、テーマに関するプレゼンテーション審査、テーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜〔プレゼンテーション方式〕では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜〔活動実績方式〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、高等学校等での活動実績、小論文、面接、志望理由書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜〔活動実績方式〕では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

【専願】

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、学校推薦型選抜（公募）〔英語方式・専願〕があります。

学校推薦型選抜（公募）〔英語方式・専願〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、英語の個別学力検査、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（公募）〔英語方式・専願〕では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

本学での学修に意欲を持ち、学校長から推薦され、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、学校推薦型選抜（公募）〔英語資格方式・併願〕、学校推薦型選抜（公募）〔数学資格方式・併願〕があります。

学校推薦型選抜（公募）〔英語資格方式・併願〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、英語の資格・検定、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（公募）〔英語資格方式・併願〕では、学力の３要素のうち、知識・技能に重点を置いて評価・判定します。

学校推薦型選抜（公募）〔数学資格方式・併願〕では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、数学の資格・検定、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（公募）〔数学資格方式・併願〕では、学力の３要素のうち、知識・技能に重点を置いて評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

本学への入学を強く希望し、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

【併願】

本学での学修に意欲を持ち、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、推薦書、調査書（高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります）によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑺　社会人選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、面接、志望理由書、調査書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。社会人選抜では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑻　帰国生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、総合型選抜と同じ方式で多面的・総合的に評価・判定します。ただし、総合型選抜における調査書の代わりとなる出願書類の提出を求めます。

⑼　外国人留学生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、日本留学試験（日本語）の成績、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。外国人留学生選抜では、学力の３要素全てを同等の比重で評価・判定します。

⑽　編入学試験・学士入学試験

第３学年次に修学するために必要な学力を有する者を選抜するために、英語の個別学力検査、小論文、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。　編入学試験・学士入学試験では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

３．人間環境学科の教育を通じて養う能力

社会・文化・経済・政治・法律・自然等、多様な領域に関連させながら、環境問題を総合的に把握・分析するための知識と理解力を身につけ、環境問題を解決するための思考力や判断力を獲得します。そのうえで、多様な人々と協働・協創し、その実現に向けて主体的に行動する能力を身につけます。

（別表）人間環境学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 〔レポート方式〕	◎	・レポートのテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する質疑応答審査 ・調査書 ・レポート	◎	・レポートのテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する質疑応答審査 ・志望理由書 ・レポート	○	・レポートに関する質疑応答審査 ・調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 〔プレゼンテーション方式〕	○	・プレゼンテーションのテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・調査書 ・プレゼンテーション資料	◎	・プレゼンテーションのテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・プレゼンテーション資料	◎	・プレゼンテーション審査 ・調査書 ・志望理由書
	総合型選抜 〔活動実績方式〕	○	・小論文 ・面接 ・調査書 ・活動実績	○	・小論文 ・面接 ・活動実績 ・志望理由書	○	・小論文 ・面接 ・調査書 ・活動実績 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式・専願〕	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・調査書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語資格方式・併願〕	◎	・推薦書 ・調査書 ・英語資格・検定	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔数学資格方式・併願〕	◎	・推薦書 ・調査書 ・数学資格・検定	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■健康科学部

1．求める学生像

健康科学部では、学力の３要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）に加え、人間の「こころ」と「からだ」の仕組みと働きに関して、絶えざる興味を持った人を求めます。すなわち、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識・技能とともに、入学後の学修において必要な、思考の柔軟性、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働・協創して真摯に学ぶことができる人を求めます。

2．入学試験制度と評価

健康科学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的･総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション･ポリシーで明示します。

3．健康科学部の教育を通じて養う能力

健康科学部では、人間の「こころ」と「からだ」の心理学的・生理学的・生物学的な仕組みと働きについて科学的に探究し、健康の回復・保持・増進に向けて問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

■健康科学部　心理学科

1．求める学生像

心理学科では、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識及び技能を備え、入学後の学修において必要な柔軟な思考力、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「こころの健康」に強い関心と探究心を持って学ぶことができる人を求めます。心理学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における主要教科に関する基礎的な知識・技能を有する人。すなわち、日本語や英語で書かれた文献を読解し、論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎的な国語力や英語力、社会の動向に関心を持ち、図表や資料を読み取ったり、図表を用いて表現したりするための数学や理科、社会に関する基礎的な知識・技能を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

「こころの健康」に強い関心を持ち、地域や社会における日常の身近な問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し、自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

⑶　主体性等

自らの考えや意見を明確に表現するとともに、多様な価値観を持つ他者の考えや意見も尊重し、互いに理解し合う共感的な人間関係を築きながら、積極的に他者と協働する力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの基本的な知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために、国語の基礎学力が必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本や記事を読むこともおすすめします。

2．入学試験制度と評価

心理学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。そのうえで、集団活動試験及び集団討論に基づいて、問題解決のための柔軟な思考力・情報収集力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、分析結果を論理的な文章と適切な図表とによって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者とともに取り組む協働力等を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。そのうえで、小論文形式による個別学力検査に基づいて、知識・技能、身の周りの日常的な問題に気づく観察力や思考力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接、志望理由書、及び

推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み、及び多様な価値観を持つ他者に対する包容力と協働力等を評価します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、推薦書等に基づく主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び協働力等を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び協働力等を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び協働力等を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接によって知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働力、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

⑼　編入学試験・学士入学試験

英語、小論文、面接の試験科目を課して、第３年次に入学するために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を有しているかを多面的・総合的に評価します。（2024年度は実施しません。）

３．心理学科の教育を通じて養う能力

心理学科では、人間の「こころ」の心理学的・生理学的な仕組みと働きについて科学的に探究し、「こころの健康」の回復・保持・増進に向けて、他者と協働・協創して、問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

（別表）心理学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・課題図書に関する筆記試験 ・集団活動試験 ・集団討論 ・調査書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団活動試験 ・集団討論 ・志望理由書	◎	・集団活動試験 ・集団討論 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募）	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■健康科学部　健康栄養学科

1．求める学生像

健康栄養学科では、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識及び技能を備え、入学後の学修において必要な柔軟な思考力、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力、及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「人の健康と栄養」に強い関心と探究心を持って学ぶことができる人を求めます。健康栄養学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における主要教科に関する基本的な知識・技能を有する人。すなわち、日本語や英語で書かれた文献を読解し、論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎的な国語力や英語力、社会の動向に関心を持ち、図表や資料を読み取ったり、図表を用いて表現したりするための数学や理科、社会に関する基礎的な知識・技能を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

「人の健康と栄養」に強い関心を持ち、地域や社会における日常の身近な問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し、自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力、及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者と協働できる態度を有する人。

⑶　主体性等

自らの考えや意見を明確に表現するとともに、多様な価値観を持つ他者の考えや意見も尊重し、互いに理解し合う共感的な人間関係を築きながら、積極的に他者と協働する力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの基本的な知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために、国語の基礎学力が必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本や記事を読むこともおすすめします。

2．入学試験制度と評価

健康栄養学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、課題に関するレポート、課題レポートをもとにしたプレゼンテーションの内容（質疑応答の状況を含む）で審査を行います。その審査結果及び調査書に基づき、多面的・総合的に評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、小論文形式による個別学力検査に基づいて、知識・技能、身の周りの日常的な問題に気づく観察力や思考力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接、志望理由書、及び推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み、及び多様な価値観を持つ他者に対する包容力と他者との協働性等を評価します。

学校推薦型選抜（公募）では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、推薦書等に基づく主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して強い関心を持ち、入学を希望していることを確認したうえで面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び他者との協働性を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して大いに関心を持ち、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び他者との協働性を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して大いに関心を持ち、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力、及び他者との協働性を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同等の比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認し、面接によって知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

３．健康栄養学科の教育を通じて養う能力

健康栄養学科では、「人と食」の多面的な学びをベースに、主たるテーマである「人の健康と栄養」を科学的に探求し、栄養士・管理栄養士として「人の健康の回復・保持・増進」に向けて、他者と協働・協創して、問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

（別表）健康栄養学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・プレゼンテーション審査 ・調査書 ・課題レポート	◎	・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・課題レポート	◎	・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・課題レポート
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募）	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■国際コミュニティ学部

1．求める学生像

国際コミュニティ学部は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、Think Globally, Act LocallyとThink Locally, Act Globallyの理念をともに重視し、社会における多様性とダイナミズムを理解できる思考力と知性を身につけ、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を備えていることを重視します。

国際コミュニティ学部が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、地域社会や国際社会における多様性やダイナミズムへの関心や疑問を持ち、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる英語の音声・語彙・文法の知識を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

社会の持続的発展平和な生活の実現のために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって社会に対する幅広い視野を持った意見を説得的に示す表現力を有する人。

⑶　主体性等

社会における相互理解と協力関係の形成に向けて多様な人々とコミュニケーションをとり、それら社会が抱える諸問題や課題の解決に向けて、さまざまな人々と協働して取り組もうとする人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。さらに、英語は国際社会を理解し世界の人々とつながるために必要です。

2．入学試験制度と評価

国際コミュニティ学部で学ぶために必要な「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価するために、各学科で多様な入学試験を実施し、選抜します。

3．国際コミュニティ学部の教育を通じて養う能力

国際コミュニティ学部の教育目標を実現するために必要な知識と技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

■国際コミュニティ学部　国際政治学科

1．求める学生像

国際政治学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、Think Globally, Act LocallyとThink Locally, Act Globallyの理念をともに重視し、コミュニティ間のグローバルなつながりから社会をとらえる視点を有し、社会が直面する様々な問題を理解し、課題の解決へ積極的に関与するとともに、英語によるコミュニケーション力により広島と世界との架け橋となろうとする志向を備えていることを重視します。

国際政治学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、コミュニティ間のグローバルなつながりから社会をとらえる視点と国際的な政治・文化・歴史・生活への知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる英語の知識を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

社会との関連性を意識して社会に関わる出来事や問題に気づく観察力、その出来事・問題を理解するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって社会に対する幅広い視野を持った意見を説得的に示す表現力を有する人。

⑶　主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包摂力を備え、主体性を持って社会において人々とつながりを生む人。同時に自らの意図を明確に表明し、さまざまな国の人々と相互協力して課題解決を目指し、意見する能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語・英語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、日本や世界の国々に関する様々な本を読むこと、多様な体験をしてみることを勧めます。

２．入学試験制度と評価

国際政治学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、小論文試験等に基づいて基礎となる知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接等に基づいて、思考力・判断力・表現力及び主体性等を評価します。

総合型選抜では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜（公募）〔英語方式〕では、学力の３要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校型推薦型選抜（公募）〔課題探究方式〕では、学力の３要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜（公募）〔指定資格方式〕では、学力の３要素のうち、知識・技能及び主体性等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校・前期）

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜（指定校・前期）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（指定校・後期）

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、志望理由書等出願書類と面接結果に基づいて多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の３要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑻　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑼　外国人留学生選抜

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、小論文、日本留学試験の成績と面接結果に基づいて評価・判定します。

３．国際政治学科の教育を通じて養う能力

国際政治や世界の国々に関する知識を習得し、国際共通語である英語の力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決を目指すことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

（別表）国際政治学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・小論文 ・調査書 ・自己アピール書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・英語 ・推薦書 ・調査書 ・自己アピール書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等の証明書 ・自己アピール書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔課題探究方式〕	○	・小論文 ・推薦書 ・調査書 ・自己アピール書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜 （指定校） （前期日程・後期日程）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

■国際コミュニティ学部　地域行政学科

１．求める学生像

地域行政学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、Think Globally, Act LocallyとThink Locally, Act Globallyの理念をともに重視し、ローカルなコミュニティの有り様から社会をとらえる視点を有し、社会が直面する様々な問題を理解し、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出すことで、持続可能な社会の担い手になろうとする志向を備えていることを重視します。

地域行政学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

⑴　知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、ローカルなコミュニティの有り様から社会をとらえる視点と政治・行政・生活への知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる英語の知識を有する人。

⑵　思考力・判断力・表現力

社会との関連性を意識して社会に関わる出来事や問題に気づく観察力、その出来事・問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって社会に対する幅広い視野を持った意見を説得的に示す表現力を有する人。

⑶　主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包摂力を備え、主体性を持って社会において共感的な人間関係を創造する人。同時に自らの意図を明確に表明し、地域と協働して課題解決を目指し、相互理解を図り、社会の発展に貢献する能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く

力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、日本や世界の地域社会に関する様々な本を読むこと、多様な体験をしてみることを勧めます。

2．入学試験制度と評価

地域行政学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

⑴　一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑵　共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

⑶　総合型選抜

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、小論文試験等に基づいて基礎となる知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接等に基づいて、思考力・判断力・表現力及び主体性等を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑷　学校推薦型選抜（公募）

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜（公募）〔英語方式〕では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校型推薦型選抜（公募）〔課題探究方式〕では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜（公募）〔指定資格方式〕では、学力の3要素のうち、知識・技能及び主体性等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑸　学校推薦型選抜（指定校）

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜（指定校）では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑹　学校推薦型選抜（附属校）

【専願】

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・専願）では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接等に基づいて主体性、社会の出来事や問題への関心の程度、社会的多様性に対する理解力を評価します。

学校推薦型選抜（附属校・併願）では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、調査書、推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

⑺　帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

⑻　外国人留学生選抜

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等、及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、小論文、日本留学試験の成績と面接結果に基づいて評価・判定します。

3．地域行政学科の教育を通じて養う能力

政治学、行政学、政策学等に関する知識を習得し、地域の価値・魅力に気づく力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決に取り組むことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

（別表）地域行政学科　各入試制度における学力の３要素の評価比重と評価方法（◎は重点評価項目）

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜（前期日程）	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ） ・英語資格・検定 （共通テストプラス方式のみ） ・調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 （共通テストプラス方式のみ）		
	一般選抜（後期日程）	◎	・個別学力検査 ・調査書	◎	・個別学力検査	○	・調査書
	共通テスト利用選抜 （前期日程・後期日程）	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・小論文 ・調査書 ・自己アピール書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 （公募） 〔英語方式〕	◎	・英語 ・推薦書 ・調査書 ・自己アピール書	◎	・英語 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔指定資格方式〕	◎	・推薦書 ・調査書 ・資格・検定等の証明書 ・自己アピール書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜 （公募） 〔課題探究方式〕	○	・小論文 ・推薦書 ・調査書 ・自己アピール書	◎	・小論文 ・面接 ・推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書
	学校推薦型選抜 （指定校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 （附属校）	○	・面接 ・推薦書 ・調査書	○	・面接 ・推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・推薦書 ・調査書 ・志望理由書

外国人留学生選抜

1．募集人員及び入試日程

学　部	学　科	募集人員	出願期間	試　験　日	試　験　場	合格発表日	入学手続期間
商	商	若干名	2023年 **12月13日(水)** ～ **12月27日(水)** **（締切日必着）**	2024年 **1月6日(土)**	広　島 （本学）	2024年 **1月11日(木)**	2024年 **2月16日(金)** ～ **2月22日(木)** **（締切日消印有効）**
	経　営						
人　文	社　会						
	教　育						
	英語英文						
法	法　律						
経　済　科	現代経済						
	経済情報						
人間環境	人間環境						
健　康　科	心　理						
	健康栄養						
国　際 コミュニティ	国際政治						
	地域行政						

2．出願資格

【商学部】

次のいずれかに該当し、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**、**「総合科目」**を受験した者

①外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

②本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

【人文学部】

社会学科・教育学科

次のいずれかに該当し、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**、**「総合科目」**を受験している者

①外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

②本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

英語英文学科

次のいずれかに該当し、Educational Testing Serviceの行うTOEFL（ITP）で470点以上（iBT方式では52点以上）を取得し、かつ2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**、**「総合科目」**を受験している者

①外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

②本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

【法学部】

次のいずれかに該当し、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**、**「総合科目」**を受験している者

①外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

②本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

【経済科学部】

次のいずれかに該当し、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**を受験している者

①外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

②本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

【人間環境学部】

次のいずれかに該当し、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**を受験している者

①外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

②本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に18歳に達した者

【健康科学部】

次のいずれかに該当し、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**、**「総合科目」**を受験している者

①外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

②本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

【国際コミュニティ学部】

次のいずれかに該当し、2022年度または2023年度日本留学試験の**「日本語」**を受験している者

①外国において学校教育12年の課程を修了した者または修了見込みの者

②本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

全学部共通

※各学部の出願資格②に該当する場合は、2023年11月6日（月）までに本学入学センターに問い合わせてください。

※「見込み」で受験した者が2024年3月31日までに各条件を満たせなかった場合は、合格しても入学を許可しません。

3．試験科目・試験時間・配点

学部	学科	試験科目	時間	配点
商学部	商学科 経営学科	小論文（資料小論文）	10:00～11:30(90分)	100点
		日本語*1	―――	100点
		総合科目*3	―――	50点
		面接（個別）	12:30～	50点
人文学部	社会学科 教育学科 英語英文学科	日本語*2	―――	150点
		総合科目*3	―――	50点
		面接（個別）*4	10:00～	200点
法学部	法律学科	小論文（資料小論文）	10:00～11:30(90分)	100点
		日本語*1	―――	100点
		総合科目*3	―――	50点
		面接（個別）	12:30～	―――
経済科学部	現代経済学科 経済情報学科	小論文（資料小論文）	10:00～11:10(70分)	100点
		日本語*1	―――	100点
		面接（個別）	12:30～	50点
		出願書類（志望理由書）	―――	50点
人間環境学部	人間環境学科	小論文（資料小論文）	10:00～11:00(60分)	100点
		日本語*1	―――	100点
		志望理由書＋面接（個別）	11:30～	100点
健康科学部	心理学科 健康栄養学科	日本語*2	―――	150点
		総合科目*3	―――	50点
		面接（個別）*4	10:00～	200点
国際コミュニティ学部	国際政治学科 地域行政学科	小論文（資料小論文）	10:00～11:30(90分)	100点
		日本語*1	―――	100点
		面接（個別）	12:30～	100点
		出願書類（志望理由書）	―――	50点

＊1　商学部、法学部、経済科学部、人間環境学部、国際コミュニティ学部の試験科目「日本語」は、本学独自の試験は実施せず、日本留学試験の「日本語」（読解、聴解・聴読解）400点の配点を100点として換算します。
＊2　人文学部、健康科学部の試験科目「日本語」は、本学独自の試験は実施せず、日本留学試験の「日本語」（読解、聴解・聴読解）100点（400点を100点に換算）と、「日本語」（記述）50点の合計とします。
＊3　商学部、人文学部、法学部、健康科学部の試験科目「総合科目」は、本学独自の試験は実施せず、日本留学試験の「総合科目」200点の配点を50点として換算します。
＊4　日本語読解力を判定する質問を含みます。

4．選抜方法

【商学部】

小論文試験、日本留学試験の「日本語」、「総合科目」の成績及び面接（出願書類にもとづき行う）の結果にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

【人文学部】

日本留学試験の「日本語」、「総合科目」の成績及び面接の結果にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

【法学部】

小論文試験、日本留学試験の「日本語」、「総合科目」の成績、面接及び出願書類にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

【経済科学部】

小論文試験、日本留学試験の「日本語」の成績、出願書類及び面接にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

【人間環境学部】

小論文試験、日本留学試験の「日本語」の成績、面接、志望理由書及び出願書類等にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

【健康科学部】

日本留学試験の「日本語」、「総合科目」の成績及び面接の結果にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

【国際コミュニティ学部】

小論文試験、日本留学試験の「日本語」の成績、面接及び出願書類にもとづき多面的・総合的に評価・判定します。

5．出願書類

記入にあたっては、文字は楷書、数字は算用数字とし、**黒ボールペン**で正確に記入してください。誤って記入した場合は、**修正液等を使用し、**再記入してください。

a．入学志願票（本学所定用紙　49ページ）

b．卒業証明書または卒業見込証明書（原本）

＊「卒業証明書」は「卒業証書」ではありませんので注意してください。

c．成績証明書（原本）

d．履　歴　書（本学所定用紙　43ページ）

e．2022年度、2023年度に受験した日本留学試験の受験票（写）、成績通知書（写）、成績確認書（写）のいずれか

※複数回の受験票等を提出する場合は、どの成績を使用するか、2023年12月27日（水）16時までに本学入学センターまでご連絡ください。連絡がない場合は、直近の成績を使用します。

f．留学にかかる収入予定書（本学所定用紙　45ページ）

g．TOEFLの成績通知書**（人文学部英語英文学科のみ）**

h．志望理由書（本学所定用紙　41ページ）**（商学部・人文学部・経済科学部・人間環境学部・健康科学部・国際コミュニティ学部のみ）**

〔商　　学　　部〕志望する動機・理由を日本語1,000字程度で記入してください。

〔人　文　学　部〕志望する理由を日本語または英語で記入してください。

〔経 済 科 学 部〕志望する理由を日本語800字程度で記入してください。

〔人 間 環 境 学 部〕志望する動機・理由を日本語または英語800字程度で記入してください。

〔健 康 科 学 部〕志望する理由を日本語または英語で記入してください。

〔国際コミュニティ学部〕志望する理由を日本語1,000字程度で記入してください。

i．入学検定料　30,000円〈郵便為替（普通為替）とし、普通為替証書には何も記入しないでください。〉

※a．入学志願票は、入学志願票(A)、受験票(B)からなっています。志願票記入例（33ページ）を参考にして、いずれも記入漏れのないよう提出してください。

※b．卒業証明書または卒業見込証明書及びc．成績証明書は、出身高等学校の証明があるものを提出してください。

※出願書類b．c．は原則として、日本語または英語のものとし、それ以外の場合には、**日本語または英語による訳文**を添付してください。また、出願書類のうちa．d．f．h．（h．は商学部・人文学部・経済科学部・人間環境学部・健康科学部・国際コミュニティ学部のみ）は本学所定の用紙を使用して記入してください。（学部により言語の指定があります。）

※検定料（ゆうちょ銀行の普通為替）は、上記出願書類とともに郵送してください。

※諸納付金減免を希望する場合は、37ページを確認のうえ、申請書類も提出してください。

※出願書類提出後の変更は一切認めませんので、記入には十分注意してください。
※提出された書類は、いかなる理由があっても返還しません。出願にあたっては、よく確認して手続をしてください。

〈入学志願票記入例〉

２０２４年度
広島修道大学　外国人留学生選抜　入学志願票（Ａ）
Application for Admission to Hiroshima Shudo University

※欄は記入しないこと。
(Not write in ※ mark)

受験番号	※ F		
志願学部・学科 Faculty and Department	(Faculty) 商 学部	(Department) 商 学科	
氏名 (Full Name)	Full Name (漢字)	姓 (Family Name) 王	名 (First Name) 明峰
	(フリガナ)	オウ メイホウ	
	(拼音) Print in Roman Letters	WANG MINGFENG	
国籍 Nationality	中国	生年月日 Date of Birth	(Year) 2005 (Month) 05 (Day) 15
性別（○で囲む） Sex (Circle)	Male or Female ① 男 2 女	出身高校名 High School	吉林 高等学校 High School
本国での住所 Home Address	〒 － 中国吉林省竜井市100号	電話 Tel.	86 － 444 － XXXX
日本における住所 Address in Japan	〒 731 － 3162 広島 都・道 府・県 広島市安佐南区沼田1-1-100	電話 Tel. / 携帯電話 Cell phone	082 － 999 － XXXX / 090 － 1234 － XXXX

Color Photo 1（写真）
上半身脱帽正面で撮影したもの
（4 cm × 3 cm）
Taken half length, without hat, full front face.

入学が許可された場合、学生証用写真として使用します。

２０２４年度
広島修道大学　外国人留学生選抜
受　験　票（Ｂ）

受験番号	※ F
氏名 Full Name	王 明峰
志願学部 Faculty	商 学部
学科 Department	商 学科

試験日　2024年１月６日(土)

受験上の諸注意

(1) 受験生は、９時40分までに試験室へ入室してください。
(2) **受験票、筆記用具、時計**を必ず持参してください。

（裏面に郵便番号、住所、氏名を明記すること）

※裏面に郵便番号・住所・氏名を明記すること。

6．入学検定料

30,000円

※入学検定料は、郵便局で30,000円分の郵便為替（普通為替）を発行してもらってください。普通為替証書には何も記入しないで出願書類とともに郵送してください。

7．出願方法

出願期間：2023年12月13日㈬～12月27日㈬（締切日必着）

⑴　**出願書類の受付は郵送に限ります。**

⑵　本学所定の「出願用封筒」に必要事項を記入し、出願書類と入学検定料を同封のうえ、必ず**速達・簡易書留**で送付してください。
本学入試情報サイトからダウンロード・印刷したものを使用しても構いません。

⑶　出願書類に不備がある場合は受け付けない場合がありますので注意してください。

⑷　郵便事情も考慮して、出願に必要な書類はなるべく早く本学に到着するよう送付してください。

（注意事項）納入した入学検定料及び出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。出願にあたっては、よく確認して手続をしてください。

8．障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮及び入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2023年11月６日(月)までに、本学入学センターへ問い合わせてください。

9．感染症（インフルエンザなど）について

試験当日に感染症（インフルエンザやはしかなど）にかかっている場合は受験できません。詳細は35ページを参照してください。

10．受験票の交付について

⑴　受験票は、郵送により交付しますので裏面には必ず郵便番号・住所・氏名を明記してください。

⑵　受験票の発送は郵便事情や願書処理状況により多少遅れる場合があります。
2024年１月４日(木)を経過しても受験票が届かない場合は、本学入学センターへ問い合わせてください。

11．試験場

広島修道大学（本学）
広島市安佐南区大塚東１－１－１（試験場案内　39ページ）

＊試験場の下見はできますが、建物内に入ることはできません。

12．受験上の注意

⑴　**試験当日は午前９時40分まで**に各自指定された試験室に入室してください。

⑵　本学受験票は必ず携行して、各時限とも机の上に置いてください。

⑶　毎試験開始後**20分以上**の遅刻者は受験できません。

⑷　黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計算機能や辞書機能及び通信機能つきのものを除く）、直線定規、メガネ、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）以外の使用はできません。
⑸　漢字や英単語がプリントされている衣服の着用や筆記用具の使用は認めません。
⑹　携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等に入れてください。試験時間中にこれらをカバン等に入れずに、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為になります。
⑺　不正行為者には退場を命じ、全科目を無効とします。
⑻　試験時間中の退室は認めません。
⑼　**試験室においては、すべて試験監督者の指示にしたがってください。**
⑽　受験票を忘れた場合や紛失した場合は、入試本部に申し出てください。
⑾　試験室には壁掛時計を設置していません。時計を持参してください。なお、計算機能や辞書機能及び通信機能つきの時計は使用できません。また、携帯電話等は時計として使用できません。
⑿　**１限目の試験を受験しないと、２限目以降の受験は認められませんので注意してください。**
⒀　積雪等による気象状況の悪化、流行性の感染症等により入学試験実施が危ぶまれる場合は、本学ホームページ（https　//www.shudo-u.ac.jp）にて延期及び開始時間繰り下げ等の対応をお知らせしますので必ずご覧ください。
⒁　感染症（インフルエンザ・はしかなど）による入学試験の欠席及び入学検定料の返還について
Ⅰ．学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしかなど）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。
Ⅱ．Ⅰ．により本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる入学検定料30,000円を返還しますので、次の要領で手続きを行ってください。
①入学検定料返還の対象者
学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしかなど）にかかり、治癒していないために入学試験を欠席した志願者。
②入学検定料返還の申請方法
(A)以下の日時に電話をしてください。
受 付 日：欠席をする試験当日
受付時間：９:00～15:00
電話番号：082－830－1100（広島修道大学入学センター）
注：申請受付時間中に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱うこととし、入学検定料の返還はしません。
(B)以下の申請書類を提出してください。
(a)入学検定料返還申請書〈本学所定用紙〉※電話による申請受付後に本学から郵送します。
(b)診断書　※以下の内容が記載されているもの

病　　名：学校保健安全法で出席停止が定められている感染症 加療期間：欠席した試験日が含まれているもの

13. 合格発表

合格発表日：2024年１月11日（木）午前10時（予定）

⑴　合格者には、**「合格通知書」**と**「入学手続書類」**を速達で郵送します。なお、「合格通知書」等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下⑵で合格を確認したうえで、１月18日㈭を過ぎても届かない場合は、本学入学センターまで連絡してください。
⑵　合否確認の補助手段として、合格発表当日の10：00から３日間「合格者受験番号一覧」を本学入試情報サイトに掲載します。

（注意事項）合格発表に関する本学への電話等での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

14. 入学手続

⑴ 入学手続について

ア．手続期間　2024年２月16日（金）～２月22日（木）　（締切日消印有効）

イ．手続内容　**【入学金の納入】**、**【前期分諸納付金の納入】**、**【インターネット入力】**及び**【手続書類の提出】**

＊手続期間内に入学手続を完了しない者は、いかなる理由があろうとも、入学辞退とみなし、入学を許可しません。

＊2024年２月26日（月）～３月18日（月）の期間内に卒業証明書の原本（既卒者は不要）を必ず郵送してください（締切日消印有効）。

⑵ 入学辞退者への入学金を除く前期分諸納付金の返還について

入学手続を完了した後に、本学入学を辞退する方については、**入学金を除く**前期分諸納付金を返還します。

返還を希望する方は、入学手続インターネット入力画面から「入学辞退届」をダウンロードし、2024年３月29日（金）（16：45必着）までに本学入学センターに提出してください。

15. 諸納付金（2024年度予定）

商学部／人文学部 社会学科／人文学部 英語英文学科／法学部／
経済科学部 現代経済学科／人間環境学部／国際コミュニティ学部　（単位：円）

区分			初年度 入学手続時	初年度 初年度後期諸納付金（納付期限９月30日）	合計	２～４年次の１年間あたり	４年間合計
諸納付金	学費	入学金	220,000	0	220,000	―	220,000
		授業料	390,000	390,000	780,000	780,000	3,120,000
		施設設備資金	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	その他	後援会費	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学友会費	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合計			731,000	500,000	1,231,000	1,011,000	4,264,000

人文学部 教育学科／経済科学部 経済情報学科　（単位：円）

区分			初年度 入学手続時	初年度 初年度後期諸納付金（納付期限９月30日）	合計	２～４年次の１年間あたり	４年間合計
諸納付金	学費	入学金	220,000	0	220,000	―	220,000
		授業料	405,000	405,000	810,000	810,000	3,240,000
		施設設備資金	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	その他	後援会費	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学友会費	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合計			746,000	515,000	1,261,000	1,041,000	4,384,000

健康科学部 心理学科　　（単位：円）

区分			初年度 入学手続時	初年度 初年度後期諸納付金（納付期限９月30日）	合計	２～４年次の１年間あたり	４年間合計
諸納付金	学費	入学金	220,000	0	220,000	－	220,000
		授業料	410,000	410,000	820,000	820,000	3,280,000
		施設設備資金	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	その他	後援会費	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学友会費	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合計			751,000	520,000	1,271,000	1,051,000	4,424,000

健康科学部 健康栄養学科　　（単位：円）

区分			初年度 入学手続時	初年度 初年度後期諸納付金（納付期限９月30日）	合計	２～４年次の１年間あたり	４年間合計
諸納付金	学費	入学金	220,000	0	220,000	－	220,000
		授業料	450,000	450,000	900,000	900,000	3,600,000
		施設設備資金	110,000	110,000	220,000	220,000	880,000
	その他	後援会費	5,000	0	5,000	5,000	20,000
		学友会費	6,000	0	6,000	6,000	24,000
合計			791,000	560,000	1,351,000	1,131,000	4,744,000

16. 外国人留学生諸納付金減免制度について

広島修道大学では、外国人留学生を経済的に支援するための諸納付金減免制度を設けています。諸納付金減免を希望する人は、必要書類を出願書類と併せて提出してください。

1．申請資格

出入国管理及び難民認定法別表第１に定める「留学」の在留資格を保有、または取得見込みの外国人留学生であって、経済的に修学が困難と認められるものであり、次の⑴から⑶をすべて満たす者

「留学」の在留資格を取得見込の場合は、事前に国際センターへ問い合わせてください。

⑴　母国から入学金・授業料等以外の仕送りがある場合、その平均月額が90,000円以下であること

⑵　日本に居住する扶養者がある場合、その年収が500万円未満であること

⑶　独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の日本語の成績が250点以上であること

2．提出書類

次の⑴から⑵すべての書類を出願書類と併せて提出すること

⑴　諸納付金減免申請書（本学所定用紙　47ページ）

⑵　在留資格を示す書類の写し（在留カード、もしくはパスポートの該当ページ）

※　在留カードは両面コピーすること

3．選考方法、採用人数及び減免範囲

選考方法及び採用人数	減免範囲
日本留学試験の日本語の成績が300点以上かつ上位７位以内	授業料の全額
日本留学試験の日本語の成績が250点以上かつ上位15位以内	授業料の半額

4．減免対象期間

入学時から１年間（２年次以降は再度申請が必要）

5．決定通知

諸納付金減免の採否決定通知は、合格発表日に速達で郵送します。

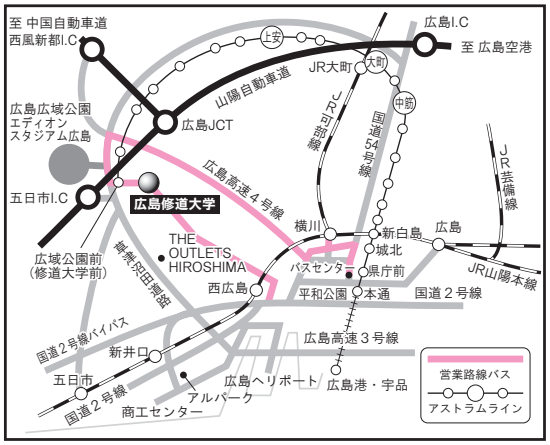
諸納付金減免に関する問い合わせ先
国際センター（082-830-1103）

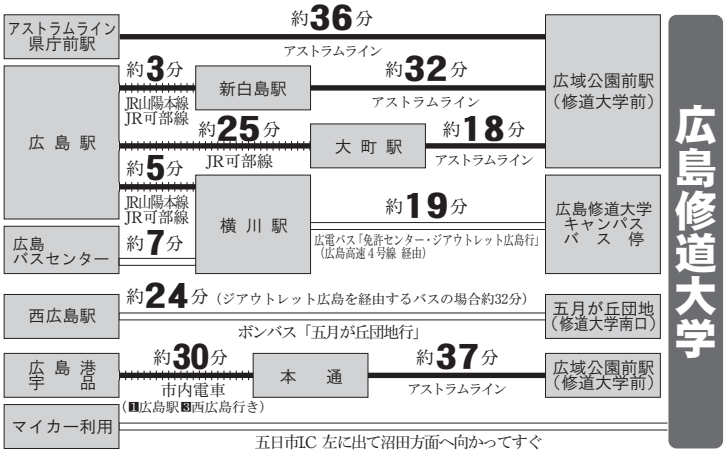
〔主な留学生対象奨学金〕

区分	奨学金種別	金　額	期間
広島修道大学	広島修道大学 上領英之奨学金	200,000円	1回
	広島修道大学 アーネスト奨学金	月額　30,000円	1年間
	広島修道大学 留学生教職員給付奨学金	月額　30,000円	1年間
政府	文部科学省 外国人留学生学習奨励費	月額　48,000円	1年間
公益財団法人	(公財)ロータリー米山記念奨学会	月額　100,000円（学部）	1年間
		月額　140,000円（大学院）	1年間
	(公財)熊平奨学文化財団	月額　50,000円	1年間
	(公財)八幡記念育英奨学会	月額　80,000円（学部）	1年間
		月額　100,000円（大学院）	1年間
	(公財)広島平和文化センター ひろしま奨学金	月額　30,000円	1年間
	(公財)ひろしま国際センター 留学生奨学金	月額　30,000円	1年間
	(公財)ひろしま国際センター 渡日等留学生支援に係る奨学金	180,000円	1回
	(公財)広島太田川ライオンズクラブ育英会	月額　75,000円	1年間
	(公財)もみじ銀行育英会	月額　50,000円	1年間
	(公財)平和中島財団 中島健吉記念奨学金	月額　100,000円	1年間

試　験　場　案　内

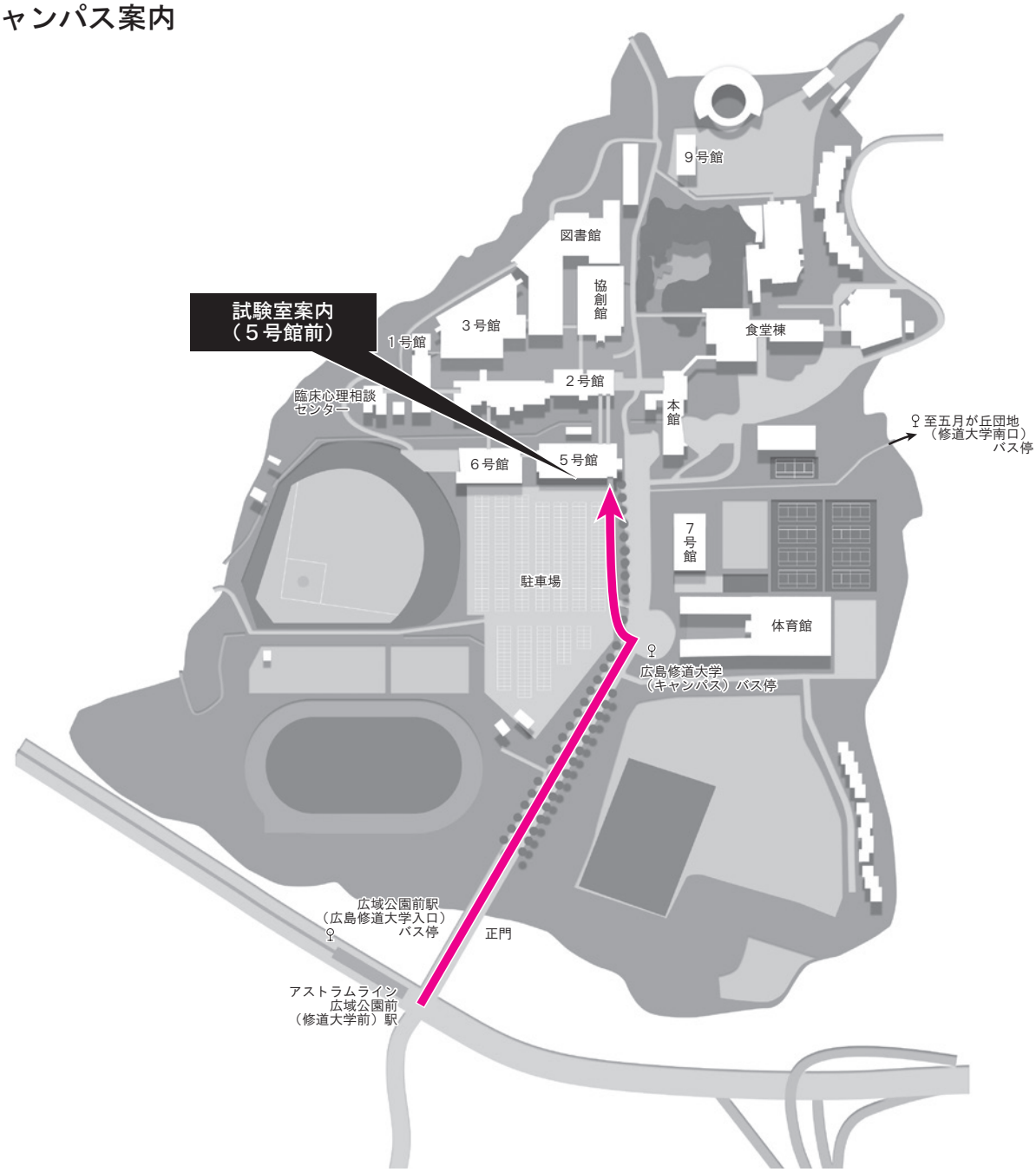
本学への交通案内





＊曜日によって運行されないものもありますので十分注意してください。

キャンパス案内



出　願　書　類

2024年度　外国人留学生選抜

志　望　理　由　書

（全学部共通）

受験番号	※記入しない F	氏名		
学　　部 学　　科	学部			学科

＊記入は黒ボールペンで行ってください。

切り取り線

800字

1,000字

切り取り線

2024年度　外国人留学生選抜

履　　歴　　書

RESUME

氏　　名 Full name				※受験番号（記入しない） F	Color Photo（カラー写真）
生 年 月 日 Date of Birth	(month)　(day)　(year) ・　・		性別 Sex	男　女 Male　Female	上半身脱帽正面で撮影したものを貼付してください。 （4㎝×3㎝） Taken half length, without hat, full front face.
国　　籍 Nationality		現在所有のビザ Status of Residence			
日本語能力（〇で囲む） Knowledge of Japanese (Circle)	優　良　可　不可 Excellent　Good　Fair　Poor				

日本語を学習した学校・機関名を記入すること。
Name the school and/or facilities where you learned Japanese.

学校名　　期　間　(month) (year)　(month) (year)
School　　Term From　.　To　.

学　歴　Educational Background
（注）小学校から始めて、通学したすべての学校を年代順に記入すること。
Note: List, in chronological order, all the schools you attended starting with Elementary (Primary) School.

学　校　名 School	学 校 所 在 地 Location	在　学　期　間 Period of Attendance (month) (year)　(month) (year)
		.　to　.
		.　to　.
		.　to　.
		.　to　.
		.　to　.
		.　to　.

職　　歴　Occupational experience

勤　務　先	所　在　地	期　　間 (month) (year)　(month) (year)
		.　to　.
		.　to　.
		.　to　.

兵役終了　Discharge from military service	(month)　(year) .	その他 Other remarks	
日本における住所 Address in Japan			
本国における住所 Home Address			

切り取り線

2024年度　外国人留学生選抜

留学にかかる収入予定書

STATEMENT OF SOURCE OF FUNDS

氏　　名（Full name）	国　　籍（Nationality）	受験番号（Application No.）
		（記入しない） ※F

学　部（Faculty）	学　科（Department）

1年間の留学にかかる学費・生活費の支払い方法について記述すること。
(State the source of funds to cover all the expenses required for one-year study in Japan)

[収入項目] Source of funds	[金　　額] Amount
現　　金（Cash）	¥
預　　金（Deposit）	¥
送　　金（Remittance）	¥
奨 学 金（Scholarship）	¥
	¥
	¥
	¥
☆合　　計(Total)	¥

署　　名
Signature

切り取り線

諸納付金減免申請書

年　　月　　日

学校法人　修道学園
理事長　林　　正　夫　様

私は、広島修道大学への入学を希望します。入学した際には、広島修道大学諸納付金納入規程第３条第２項に基づき、下記の理由により諸納付金を減免していただきたく、申請します。記載内容に虚偽があった場合は申請を取り下げ、正規の諸納付金を納付します。

志望学部・学科	学部　　学科		
受　験　番　号		出身の国、地域	
氏　　名		性　　別	男　・　女
アルファベット氏名 ※在留カード記載の氏名		生　年　月　日	年　　月　　日
住　　所	〒　　－ TEL（　　）－　　－		
母　国　住　所			
在学予定期間	年　　月　～　　年　　月		
諸納付金の減免を希望する理由 ＊具体的に記入すること			

切り取り線

【経済状況】

1．母国から入学金、授業料等以外の仕送りがありますか（○をしてください）

はい　（月額　　万円）　・　いいえ

2．在日扶養者はいますか（○をしてください）

はい　（年収　　万円）　・　いいえ

3．１か月の平均収入・支出状況（入学後の予定）

収入	
項目	金額
アルバイト収入	円
母国からの送金	円
在日扶養者からの収入	円
奨学金	円
その他	円
合計※	円

支出	
項目	金額
勉学費	円
住居費	円
光熱水費	円
食費	円
その他	円
合計※	円

※　合計には、入学金、授業料を含めること。また、収入と支出の合計金額は同じにすること。

切り取り線

【奨学金受給状況】

現在受けている奨学金、または受ける予定の奨学金があれば、その名称、受給期間及び受給金額を記入してください。

奨学金名称　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受給期間　　年　　月～　　年　　月

受給金額　　月額＿＿＿＿＿＿円

【在留資格の確認】

□在留カードまたはパスポートの該当ページのコピーを添付しましたか。

□現在の在留資格が「留学」以外の方は、事前に国際センターに連絡しましたか。

本申請書に記載の個人情報は、諸納付金減免申請手続きの目的にのみ使われます。

（本人切り離し）

２０２４年度
広島修道大学　外国人留学生選抜　入学志願票（Ａ）
Application for Admission to Hiroshima Shudo University

※欄は記入しないこと。
(Not write in ※ mark)

受　験　番　号	※　F	
志願学部・学科 Faculty and Department	(Faculty)　学部	(Department)　学科
氏　名 (Full Name)	Full Name (漢　字)	姓　(Family Name) / 名　(First Name)
	(フリガナ)	
	(拼　音) Print in Roman Letters	

Color Photo 1（写真）
上半身脱帽正面で撮影したもの
（4 cm× 3 cm）
Taken half length, without hat, full front face.

入学が許可された場合、学生証用写真として使用します。

国　籍 Nationality		生年月日 Date of Birth	(Year)　(Month)　(Day)
性別（○で囲む） Sex（Circle）	Male or Female 1 男　2 女	出身高校名 High School	高等学校 High School
本国での住所 Home Address	〒　－	電話 Tel.	－　－
日本における住所 Address in Japan	〒　－ 都・道 府・県	電話 Tel. 携帯電話 Cell phone	－　－ －　－

（切り離さないで提出）

２０２４年度
広島修道大学　外国人留学生選抜
受　験　票（Ｂ）

受験番号	※　F
氏　名 Full Name	
志願学部 Faculty	学　部
学　科 Department	学　科

※欄は記入しないこと。
(Not write in ※ mark)

試験日　2024年１月６日(土)

受験上の諸注意

(1)　受験生は、９時40分までに試験室へ入室してください。
(2)　**受験票、筆記用具、時計**を必ず持参してください。

（裏面に郵便番号、住所、氏名を明記すること）

速　達

郵　便　は　が　き

料金後納
郵　便

様

広島修道大学　入学センター

〒731-3195　広島市安佐南区大塚東１－１－１
☎０８２－８３０－１１００（直通）

〒731-3195　広島市安佐南区大塚東一丁目１番１号　広島修道大学　入学センター

TEL 082-830-1100（入学センター）
https://www.shudo-u.ac.jp（ホームページアドレス）
https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/（入試情報サイト）

この要項は再生紙を使用しております。